２０２４年（令和６年）６月１８日（火）発行

各団　努力の結晶を解き放て！

やまみぃ博新聞第二号

やまみぃ博二日目体育部門特集!!

団員再集結 表現練習開始

Y.F.C
Yamaguchi Fuchu Cup 2024

歓喜再び

団長への取材

6月14日初めての表現練習が始まった。先月行われた集団行動カーニバルの団員、附中生がそれぞれの団員で集まり、歓喜の声が上がった。そして、共に戦う仲間としてお互いを鼓舞し合った。「表現」とは、やまみぃ博二日目YFCで、各組が太鼓の音に合わせて演舞をすることである。附中の伝統の一つであるが今年度はやまみぃ博にあわせ、県内の特色を表現するというこれまでの学園祭学習に加え、昼休みなどのありとあらゆる時間を駆使し、各組最高の表現を準備してきた。その発表を前に、団長をはじめとする表現係は険しい表情をしていた。そんな表現を最前線で引っ張っていく団長計４名に、意気込みを取材した。内容は次の通りだ。

魁龍（かいりゅう）
団長　内藤さん
「僕たちは、長州藩のように一体感があり、油谷湾のように優雅に表現します。この組なら優勝できると信じています」

隲彩（しちさい）
団長　正司さん
「B組のみんなは、僕達表現係が用意したものを完璧に仕上げてくれるだけの力があります。表現係がより良い表現・見本を完成できるよう頑張ります」

黒鯨（わだつみ）
団長　松永さん
「例年とは一味違った体育祭になると思いますが、見る人全員に感動を届けることを目標に頑張ります」

白蝶（がうら）
団長　能美さん
「白蝶は個性が強く全員が蝶のように羽ばたいています。表現係全体がリーダーシップがあるところがこの団の良いところです。今年は団結賞もあるので総合優勝、表現優勝、そして団結賞の３つすべて勝ち取ります！」

団長を筆頭に、各団全員が強い思いを抱いている。今回の表現も、大きな期待が寄せられることだろう。

一方YFCは？

さて、ここまで表現について書いてきたが、体育部門委員では、今どんな活動をしているのだろうか。体育部門委員長である岩原さんによると、式典部・広報部・開発部の三つの班に分かれ活動しているという。名前を聞くだけでも気になるものばかりだ。岩原さんは、取材の最後に「僕たちは最高のメンバーで最高の体育祭を作るために努力しています。そして、来てくださった方に夢・感動・元気を与えることができるように一意専心していきたいと思います！」と意気込みを語ってくれた。とても熱意を感じられ、さらに、やまみぃ博に期待が募ることとなった。

実行委員広報班

ところで、この新聞を読んでいる読者は、この新聞を、どこの誰が書いているか知っているだろうか？　そう、やまみぃ博実行委員新聞班だ。一年生女子２名、一年生男子１名、三年生男子一名名の計４名で構成されている、附中専属のジャーナリスト。情報収集、取材、写真撮影、本文作成の繰り返しで目まぐるしい、それでいて幸せな日々を過ごしている。

附中生に、やまみぃ博に関わる最新で、重要な情報を、早く、正確に伝えたいという一心で、私たち新聞班は活動を行っている。いつかどこかで私たちを見かけたら、ぜひ、カメラに向かって華麗なポージングをしてほしい。

運が良ければ、この新聞に起用され、掲載され、校内で一躍人気者になるだろう。

NYT
今年行くべき1日の市町
Y.F.C
Yamaguchi Fuchu Cup 2024
YAMAGUCHI未来博
～「やまぐち」から「YAMAGUCHI」へ～